

自治会 第57号 あつぎ

目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的な活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな地域社会

発行 厚木市自治会連絡協議会
編集 自治会連絡協議会広報部会
電話 046-225-2101

資源化率35%を目指して

ごみ減量化・資源化新システムがスタートして約五か月が経過しました。以前のごみの出し方から比べると、資源ごみの種類、集積場所、収集回数等大幅な変更であり、当初は戸惑いもありましたが、徐々に資源とごみの正しい出し方が浸透してきており、ごみ減量化・資源化、共に良い方向に進んでいます。今後このシステムを定着させ、限りある資源を有効に活用する循環型社会を形成しながら、平成二十六年度資源化率35%の実現に向けて頑張らしましょう。なお、資源ごみの持ち去りを、禁止する条例が施行されております。



中三田第二自治会の分別状況を市長視察

「誰もが健康で幸せに暮らせるまちを」

厚木市では、現在、セーフコミュニティの認証取得を目指し、様々な取り組みを展開しています。

その一環として、地域でセーフコミュニティ活動を実践するセーフコミュニティモデル地区に

- 戸室地区自治会連絡協議会
- 上三田自治会
- みらい文化川本自治会
- 下川入第三自治会
- 小鮎子どもの安全見守り隊（アメニティヒル本厚木自治会、南千頭自治会、古松台自治会）
- 西仲自治会



セーフコミュニティ認証取得に向けての総決起大会の様子



戸室地区自治連 ワークショップの様子

○しみずつ子すこやかネットワーク会議（清水小学校PTA等を中心とした団体）の七団体が指定されております。当自治会連絡協議会でも、地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせるまちを目指して、セーフコミュニティ活動を積極的に推進していきたくて考えておりますので、自治会の皆様のご協力をお願いいたします。



セーフコミュニティ
イメージマーク

後継者育成に力を！！

厚木北地区元町自治会
会長 香田 英明

この課題に関しては、何処の地域も共通している問題と
思います。私たち元町でも、
新年度は力を入れて検討が急
がれています。その中でも、
子ども育成リーダーと会員増
員を目指す目標。また、太鼓
保存会の後継者問題、現在は
指導者の高齢化による人員不
足等も急務です。毎年秋には
町の鎮守さまの「船喜多神社」
の例大祭に花を添えてくれま
す子ども太鼓衆も減少し、事
あるごとに呼び掛けをしてい
ますが募ることは無い現状で
す。

伝統あるものは後世に引き
継がせる対策を積極的に検討
し、実現する考えです。この
場を拝借して、是非、太鼓を
叩いてみたい方は心より歓迎
致します。ご一報ください。
一方、子どもの数も減少し
ているのも事実です。工夫次
第で子ども育成会を運用でき
ると考えます。先ず、自治会
組織に統合し、子ども育成者
は自治会の役員で執行して、
市子連加盟は「〇〇自治会子
ども会」として登録すれば、
保護者の役員負担が解消され

ますし、増員対策も手助けに
なると考えます。
いずれにしても、後継者育
成は頭の痛い問題ですが決し
て避けて通れない課題です。
頑張りましょう！



子ども太鼓衆

自治会活動に新戦力

依知南地区自治会連絡協議会
会長 倉田 紀夫

自治会行事の参加者の顔ぶ
れが同じという悩みを持った
自治会もあると思います。
当地区では、昨年十二月に
行われた年末清掃に、依知中
学校の生徒さん(約二百三十
人)が参加して、地区内のそ
れぞれの自治会で一緒に汗を
流しました。長坂地区には、



良い汗を流しました

藤塚中学校の生徒さんも参加
してくれました。
当初は依知中学校生徒会か
らの申し出で始まり、今回で
三回目となりました。中学生
から自治会活動に参加してい
くことで、自治会活動が身近
なものになることや自らほう
きを手に清掃して、きれいに
することに、地域を大事に
する気持ちが育つことと思
います。そして近い将来、こ
の生徒さんたちが自治会活動
の中心戦力となっていくこと
でしょう。
地区内の下依知自治会では、
六年前から夜間パトロールを
実施していますが、今年から
もうひとつの戦力が加わりま

防犯モデル地区として

睦合北地区十日市場自治会
会長 長野 田 勲

した。それは青色回転灯を装
備した二台の民間車両です。
そのうち一台は、下依知で車
上荒らしが起りやすい時間
と言われる午前三時三十分か
ら出勤しています。それぞれ
個人の都合のなかで創意工夫
して、『自分たちのまちは自
分たちで守る。』を実践して
います。

昨年、セーフコミュニティ
推進の一環として『防犯モデ
ル地区』の指定を受けました。
さて、今まで自治会活動に
消極的な地域の方が、一年間
継続する活動に賛同してい
ただけるのか、私自身不安もあ
りました。が、班長さんの定例
会で意外にも賛成を得て、実
施することになりました。
先ずは防犯モデル地区の意
義や内容を、回覧で認識して
いただき、続いて、毎週土曜
日夜九時から十時まで、四、
五人の役員体制で一人月一回
の無理がない計画で実行に移
しました。また、八月のお盆
には全戸に協力を願って、
『防犯強化週間』の看板で実

実施した時には、七割近くの参
加も得られ、後には反響もあ
りました。
路地裏の防犯をモットーに
して、放置自転車、オートバ
イ等の迅速な撤去、ごみ集積
所近くの不法投棄については、
集積所の移動、防犯灯を隠す
木の枝切り等、整った環境づ
くりを、小さな目配りが防犯
推進の一步と考えて、今後も
活動を続けていきます。
なお、当地は中津川を東に
見て『せせらぎの小道』や、
鮎の養殖場もある田園風景で
す。一度寄ってください。



いざ出陣へ



自治会の活性化に 取り組んでいます

睦合南地区瀬戸睦自治会
会 長 山 村 勝 美

皆さんこんにちは。妻田地区の北東の角に位置し、東側が中津川の清流に面している自治会の活動内容について紹介します。世帯数は約八百、そのうち自治会加入世帯数は五百四十世帯です。

さて、夏の納涼祭、冬のどんど焼きの二つが最大のイベントとなりますが、納涼祭では五種類の模擬店を出店し、全て自治会員が担当します。その他長寿会（老人会）でも独自に出店します。子ども会では役員が相談して、かき氷くじ引きなど子どもたちが楽しめるものを行っています。その他盆踊り、クイズ、抽選会などを行い、納涼祭を盛り上げます。盆踊りでは練習と当日の指導を、当自治会に在住の扇松流家元、扇松寿菊先生にお願いしています。翌日には、大人用と子ども用神輿が地域内を練り歩きます。冬に行うどんど焼きのメインは、やぐらに飾った各家庭のお正月のお飾りを燃やし、その火で竹の先に刺した子餅を焼き無病息災を願うことですが、子どもたちにより餅つきを行い、絡み餅を作り会員に振舞います。その他豚汁、おしるこ、甘酒も作ります。また、防犯活動では、全家庭が当番制で夜間に防犯パトロールを行っています。防災訓練でも生活に密着した内容の訓練を行っています。ご紹介したい事はまだまだありますが、今後とも自治会の活性化に取り組んでいきます。

が建設されてから二年八か月、自治会が無いまま経過してきた中で周辺自治会のご協力をいただきながら、住民有志で自治会設立に漕ぎ着けました。

当自治会は全世帯が自治会員となっており、小さいながらも結束力のある集団です。今年度は初年度で手探り状態での自治会運営となつていますが、それでも市民健康まつり運動会に参加し、十一自治会中五位という結果も残すことができ、自治会活動の盛り上がり役員一人一人が実感しています。



どんど焼き

南毛利南地区に11番目の自治会が発足

南毛利南地区サングレイス
愛甲石田自治会
会 長 山 田 功 次

平成二十一年四月一日に世帯数百十六のマンション、サングレイス愛甲石田に自治会が設立しました。マンション

基本的には近隣の坊中自治会のイベントに合同で参加させていただくことが多いですが、今後は単独で実施できるよう頑張ります。

当自治会は全世帯が自治会員となっており、小さいながらも結束力のある集団です。今年度は初年度で手探り状態での自治会運営となつていますが、それでも市民健康まつり運動会に参加し、十一自治会中五位という結果も残すことができ、自治会活動の盛り上がり役員一人一人が実感しています。

当自治会は自治会長の私をはじめ二十代、三十代を中心とした働き盛りの役員が多く、平日のイベントや打ち合わせに出席することはなかなか難しいのですが、若さと団結力で今後も自治会運営を盛んにしていきたいと思えます。



市民健康まつり運動会の風景

地域が一丸となった ヤマビル対策への取り組み

七沢地区自治会連絡協議会
会 長 黄 金 井 秀 夫

七沢地区は、自然豊かな里山環境に恵まれ、神奈川県唯一の森林セラピー基地として認定された七沢森林公園があります。四季折々の風情が楽しめる、老いも若きも魅力あふれる癒しの散策公園であり、季節を問わず来園者が森林浴に浸っています。

このような七沢地区も、近年、ヤマビルによる被害に頭を悩ませています。丹沢、大山を中心とした東丹沢におけるヤマビル生息地は、山間部のみならず、当七沢地区の一般住宅地にも拡散し、その被害は住民を始め、農林業従事者、観光客（ハイカー）等にまで及んでいます。吸血被害を無くすためには、生息地を拡大させないことが肝要であると考え、平成二十年度に玉川地区ヤマビル対策協議会を発足しました。六回・延べ六百三名の自治会



環境整備の様子

員の参加をいただき、環境整備（伐木・草刈り・落葉かき）焼却処理等を実施し、三万五三九九㎡、ヤマビル76、7%減の成果を得ることができました。

この活動を通じ、全戸を対象とした環境整備も意識づけが図られ、生活圏内も手入れがされ、子どもも大人も安心して生活できることに感謝しております。

ヤマビルは、里山の崩壊などで山を下りてきたシカやイノシシなどの鳥獣を介して拡大したものであり、地球の温暖化もヤマビルの急増を助長しているとも考えられます。引き続き地区の活性化に向け地域の再生グループ等と力を合わせ、撲滅に向け最善の努力をしていきたいと考えます。

サンタがやってきた

森の里地区自治会連絡協議会
会 長 新郷 道人

森の里地区には、自治連主催のお祭りが三つあります。五月鯉のぼり祭り、八月夏祭り、十二月が今回紹介するクリスマス祭りです。昭和六十三年から二十三回を数える子どもたちの夢と、成長と、森の里及び世界の平和を祈った行事です。

青山学院大学のクリスマスミサとハンドベルクワイヤの演奏を中心としたものがスタートでした。青学が撤退後、自治連が引き継いだのが、今のお祭りの原点でもあります。

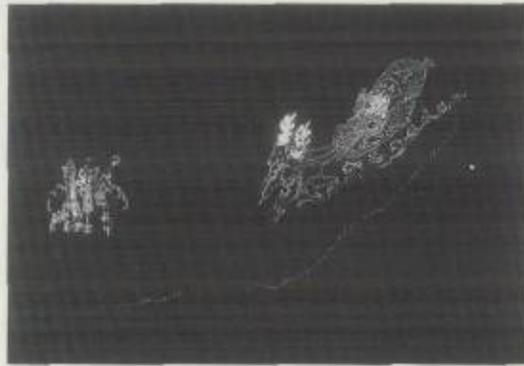
クリスマスイルミネーションを中心に、野外ステージでのオカリナなどの演奏会、大道芸、映画上映会などで子どもも大人も楽しめます。

若宮池のイルミネーションは五月の鯉のぼりのワイヤーを使い、夢いっぱいのでモンスターレーションを行っています。初代のポケモンから、昨年「森の里にサンタがやってきた」をテーマに三年計画でイルミネーションを作製しております。製作は、自治会、祭り世話人会を中心に、小学

校の空き教室を使い原寸大にパソコンで拡大した図面に一個一個設置しました。

昨年は、12m×6m、今年は11m×11mのネットに各四千個のLED発光ダイオードを使用しました。赤、白、モノトーンが多いクリスマスイルミネーションに無い、赤、白、青、緑、橙きらびやかな輝きを放っています。

住民だけで作り上げるイルミネーションは、来年完成です。お楽しみに。



クリスマスイルミネーション

花いっぱい地域づくりを目指して

相川地区長沼自治会
会 長 森 屋 駿 義

長沼地区は厚木市の南西部にあり、平塚市と伊勢原市に

隣接し、県道横浜伊勢原線を挟んで、北側に県の防災センター、南側に流通団地が立地しています。

約百世帯で住民三百人足らずの小さな自治会ですが、相川地区で構成する消防第八分団の一個部隊を有し、隣接両市を含めた住民の安心安全に寄与しています。

最近の社会環境の変化で、長沼自治会でも住民同士の交流が少なくなっていますが、毎年八月に行う納涼祭では、消防団や健全育成会、昭和会、老人会、生産組合など全ての団体が協力して住民の交流を図っています。

また、以前十年にわたって行った「レンゲまつり」の当時から地区内の市道沿いに設置されていた大きめのプランターに、花を植え管理してきた花好きの人たちが相談して、昨年度「長沼フラワークラブ」を立ち上げました。

市の公園緑地課や、ふるさとづくり推進協議会のご支援も頂きながらミニ花壇や新たに設置したプランターで季節の花々を咲かせています。いずれは各戸にも花を植えていただき、「花いっぱい」で触れ合うきれいな地域づくりを進めています。そして隣接する両市から厚木市に入った人たちが「花があつてきれい

だ」と感じていただける地域を目指して努力しています。



植栽して記念写真

自助・共助の街を目指して

緑ヶ丘地区王子二丁目自治会
会 長 佐々木 安雄

王子二丁目は、東側が県企業庁水道局低区配水池と山林、北側が山林、西側が本厚木カントリークラブに接し、北側への通過道路がなく、主要道は団地南側に東西に走っています、その道の南側に王子三丁目文郷山団地、厚木商業高校、福伝寺がある閑静なところで、自治会が発足して三十五年。今年は厚木東、商業高校避難所開設訓練とともにその

避難所運営マニュアル作りを王子一丁目、三丁目と一緒にやって検討中です。

公園・緑地公園の環境整備、夏祭り、三世代交流芋掘会及び懇親会、シニア同好クラブ、子供クラブの支援等や日曜日を除く毎日の防犯パトロール、公園、王子神社、自治会館等の月例清掃等の事業を実施。そして緑ヶ丘公民館、地区自治会の運動会、祭り、各種競技大会、イベント事業への参加など。

こうした事業や参加を通じた「出会い、ふれあい、会話」の機会を多くして絆を深め、地域の力を少しでも高めて災害に強い、明るく住みよい、自助・共助の街になりたいものと思っております。



緑ヶ丘地区市民大運動会